

令和6年度の取組について

<生活機能の強化に係る分野>

■医療

・救急医療事業（医療・福祉部会）

救急医療や応急処置等に関する相談に24時間対応する「救急・健康ダイヤル24」事業の実施対象エリアを維持するとともに、令和6年度から英語・ポルトガル語・ベトナム語での多言語対応を開始した。

■健康・福祉

・病児保育事業（医療・福祉部会）

病児保育事業の利用対象者を圏域に拡大し、周知・情報提供することで連携町村の利用者があり、働く子育ての世帯への継続した安心を供給できている。

■教育

・教育環境（教育部会）

笠置中・山添中学校の生徒へ進学可能な三重県立高校の案内パンフレットを配布し、今年度初めて上野高校に南山城村から1名が入学した。

・図書館（室）の利用促進（教育部会）

図書館の利用案内を継続して行い、毎月情報提供する中で、利用促進を図った。11月からは名張市へも情報提供を行った。

■産業振興

・観光振興事業（産業振興部会）

連携市町村の集客イベント（伊賀上野 NINJA フェスタ 2024in 上野恩賜公園、第2回山添やんばい祭り 2024）に参加し、PRを行った。

<結びつきやネットワークの強化に係る分野>

■公共交通

・公共交通ネットワークの構築（交通部会）

南山城村で運行する村タクが伊賀市（島ヶ原）へ乗り入れしている。名張市（美旗）のはたっこ号が伊賀市（きじが台）に乗り入れしている。また、令和6年度から山添村コミュニティバスの伊賀市（上野市駅）乗り入れが開始された。

■地域間交流

・N-1グランプリ（交流部会）

N-1グランプリ（連携市町村で活動する団体が、活動紹介パネルを作成・展示し、圏域住民が応援したい団体に投票する取り組み）の投票数も増加した。交流会を開催し、団体等が交流することで互いの結びつきを強化し、圏域団体の活力を創出した。

<圏域マネジメント能力の強化に係る分野>

■人材育成・交流

・職員合同研修の実施（広報・人材育成部会）

職員研修を実施し、連携町村の参加希望職員が受講することで、職員間の交流・連携を深めた。

<特記>

■環境

・ごみ処理広域化の検討（環境部会）

4市町村（伊賀市、笠置町、南山城村、名張市）が、ごみ処理広域化・集約化に向けた検討を行った。

令和7年度の取組について

<生活機能の強化に係る分野>

■医療

・救急医療事業（医療・福祉部会）

救急医療や応急処置等に関する相談に24時間対応する「救急・健康ダイヤル24」事業（英語・ポルトガル語・ベトナム語の多言語対応）実施対象エリアを、名張市を加えた圏域全体に拡大する。

・産科医療体制確保事業（医療・福祉部会）

伊賀地域における産科医療体制を確保するため、課題解決に向けて協議を行う。

■健康・福祉

・病児保育事業（医療・福祉部会）

病児保育事業の利用対象者を圏域に拡大し、周知・情報提供することで、働く子育ての世帯への継続した安心を供給する。名張市と相互利用に向けて協議を行う。

■教育

・教育環境（教育部会）

笠置中・山添中学校の生徒へ進学可能な三重県立高校の案内パンフレットを配布し、連携市町村の生徒が、圏域内にある高校を進学先として検討できるよう、学校の紹介を行う。

・図書館（室）の利用促進（教育部会）

図書館の利用案内を継続して行い、圏域内で実施する各種事業を、毎月圏域内住民に周知し、利用促進を図る。

■産業振興

・観光振興事業（産業振興部会）

大阪関西万博の開催を契機に、主なターゲット地域を京阪神大都市地域とし、圏域内外で開催されるイベントに参画し、相互にPRを促進する。

<結びつきやネットワークの強化に係る分野>

■公共交通

・公共交通ネットワークの構築（交通部会）

相互利用の普及啓発と利便性の向上に努める。村タクによる利用エリアや方法の改善実施（通院等）を行う。

■地域間交流

・N-1グランプリ（交流部会）

N-1グランプリにおいて、連携市町村の団体に広く周知し参加に繋げ、団体等が交流することで互いの結びつきを強化し、圏域団体の活力を創出する。

＜圏域マネジメント能力の強化に係る分野＞

■人材育成・交流

- ・職員合同研修の実施（広報・人材育成部会）

職員研修を実施し、連携町村の参加希望職員が受講することで、職員間の交流・連携を深める。

＜特記＞

■環境

- ・ごみ処理広域化の検討（環境部会）

4市町村（伊賀市、笠置町、南山城村、名張市）が、ごみ処理広域化・集約化に向けた検討を行う。